

令和3年度 事業報告

1 概要

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、定時総会を始め、多くのセンター行事・活動の縮小・中止等を余儀なくされるなど、シルバー事業が大きな影響を受けた1年となりました。

このような中、感染対策を含めた新しい生活様式を実践しながら「就業の拡大」と「会員の拡大」の二つを重点事業に掲げ、取り組んでまいりました。

「就業の拡大」については、新たな企業就業が開拓なったことやコロナ禍で帰省できない空き家所有者から空き家管理の依頼が多かったこともあり、請負事業の実績は前年比4.5%増となりました。一方、派遣事業については、前年度までの学校業務員が停止なったこと、新型コロナの影響で学童保育補助就業日数が減少したことなどにより、前年比21.1%減と大幅な減少となりました。この結果、請負と派遣の合計実績は前年とほぼ同額の125,299千円となりました。

「会員の拡大」については、定例の入会説明会の他に、女性限定や出張入会説明会を開催、会員募集チラシを全戸配布するなどの広報活動を行った結果、新規会員20名の入会となりました。しかし、退会会員が29名となりましたので、前年より9名減となりました。国は企業等での70歳までの雇用延長を検討しており、今後、新規入会者の減少が懸念されます。

就業の基本となる安全就業については、安全適正就業委員会による巡回安全パトロール、安全対策員による安全指導、草刈り・剪定班の安全講習会を開催するなど安全就業対策を図ってきましたが、傷害・損害事故は5件発生しており、その中で転倒などの傷害事故が4件となっています。新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の出現など、収束が見通せない状況ですので、引き続き感染防止対策に取り組んでいきます。

今後の課題は、センター設立時から当センターの基幹就業となっている除草、剪定班の後継者育成が喫緊の課題となっています。また、財政面では、令和5年10月から導入される「消費税のインボイス制度」は、センターの運営に極めて大きな影響を及ぼすものと考えられますので、準備・対応に努めていきます。

令和3年度は、当センター創立30周年の節目の年となりました。当センターを継承し、更に発展していくために、会員・役職員一丸となって地域社会の期待に応えていけるよう努めてまいります。

以下、主な事業実施状況について報告します。

2 事業実施状況

(1) 就業の拡大

① 請負事業

発注者別実績では、「企業等」は新たな企業就業開拓により前年比 9.6% 増の 50,398 千円、「公共」は前年比 1.0% 増の 39,155 千円となりました。

一方、「個人家庭」は前年並みの 20,722 千円となりましたが、コロナ禍の中、空き家所有者が帰省できず、墓地清掃や空き家見回り、空き家の除草等の依頼件数が例年になく多い状況でした。

これらの結果、請負事業実績は前年比 4.6% 増（4,829 千円）の 110,277 千円となりました。

事業実績（請負）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R2	243 人	239 人	1,268 件	105,448 千円	24,627 人日
R3	234 人	232 人	1,233 件	110,277 千円	25,333 人日
比較	△9 人	△7 人	△35 件	4,829 千円	706 人日

② 派遣事業

請負事業で対応できない就業については、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「派遣事業」で取り組みました。令和 3 年度は前年度までの学校業務員が廃止なったこと、新型コロナウイルスの影響で学童保育補助就業日数の減少したことなどにより、派遣事業実績は前年比 21.1% 減（4,011 千円）の 15,022 千円となりました。

事業実績（派遣）

年度	登録会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R2	33 人	33 人	18 件	19,033 千円	3,489 人日
R3	28 人	28 人	24 件	15,022 千円	3,019 人日
比較	△5 人	△5 人	6 件	△4,011 千円	△470 人日

③ 全体（請負＋派遣）

請負と派遣の合計実績は、前年比 0.7% 増（818 千円）の 125,299 千円となりました。

事業実績（請負＋派遣）

年度	会員数	就業実人員	受注件数	契約金額	就業延人員
R2	243 人	251 人	1,286 件	124,481 千円	28,116 人日
R3	234 人	244 人	1,257 件	125,299 千円	28,352 人日
比較	△9 人	△7 人	△29 件	818 千円	236 人日

(2) 会員の拡大

「人生百年時代」を迎えた今日、高齢者がいきいきと活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが重要となっており、その受け皿となれるよう、次の取り組みを行って新会員の確保に努めました。

○入会説明会（毎月第 1 水曜日）の実施

○出張入会説明会（町内 5 地区）の実施（3 月）

- 女性限定入会説明会の実施（10月）
 - 会員一人ひとりによる友人や知人への勧誘活動
 - 夫婦会員の場合、一方配偶者の年会費免除の実施
 - 会員募集チラシの全戸配布（2月）
 - 広報「シルバー河北」を活用し、会員募集の周知（9月、2月）
- 以上の取り組みを実施した結果、新規入会者は20人となりましたが、健康面や高齢等で退会者が29人となり、前年より9人の減となりました。

会員の入会・退会状況

年度	入会者数	退会者数	年度末会員数
R2	29人	24人	243人
R3	20人	29人	234人
比較			△9人

(3) 安全・適正就業の推進

① 安全就業の推進

「安全は全てに優先する」を基本に、安全適正就業委員会を中心に次の活動に取り組みましたが、傷害・損害事故は5件と前年より1件増となりました。その中で転倒などの傷害事故が4件となっています。会員の高齢化が進んでおり、今後も安全就業対策に積極的に取り組んでいきます。

なお、会員及び役職員の「安全研修会」「交通安全ゆとり号」による運転者適性診断については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の出現など、収束が見通せない状況ですので、引き続き感染防止対策に取り組んでいきます。

- 新型コロナウイルス感染症に対する会員への注意喚起
- 「就業現場巡回安全パトロール」の実施（8月、12月）
- 安全就業の意識高揚を図るため「安全標語」の募集（7月）
- 「安全就業たより」の発行（年5回）
- 「機械器具の安全点検と整理整頓」の実施（3月）
- 会員の「健康診断受診」及び「自家用車任意保険加入」の勧奨
- 刈払機安全対策講習会の実施（5月）
- 植木手入れ安全講習会の実施（6月）

② 適正就業の推進

就業の前提となる「適正就業ガイドライン」を遵守し、「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、「グループ就業」と「ローテーション就業」の推進に取り組みました。

また、会員により公平な就業機会を提供するため、同一仕事内容で同一就業場所に年間を通じて就業する場合の「継続就業期間等に関する要綱」

を策定しました。

(4) 普及啓発と地域貢献

① 普及啓発

シルバー人材センターの目的や事業内容を町民に広く周知し、センターのイメージアップを図るため、次の取り組みを行いました。

- 広報「シルバー河北」の発行（年2回）
- 町広報誌にセンター情報記事の掲載
- 「普及用チラシ」と「会員募集チラシ」の全戸配布（4月、2月）
- ホームページの活用

② 地域貢献

シルバー人材センターは、地域社会の福祉と活性化に寄与することも大きな目的となります。今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、各地域での奉仕活動を中止としましたが、「シルバーの日奉仕活動」については、感染対策を講じて実施しました。

奉仕活動内容	活動会員	参加人数
10月9日 シルバーの日奉仕活動（商店街街路樹柵の除草）	全会員	95人

(5) 講習会及び研修会の開催

会員が就業上必要な技能や知識を取得し、会員のスキルアップを目指し、新型コロナ感染防止対策を行いながら、次の講習会を開催しました。

なお、3月に当センター会議室で開催予定の会員研修会は中止としセンター情報誌での代替えとしました。

《講習会状況》

◎山形県高齢者就労活性化事業（当センター主催）

開催日	講習内容	受講人数
5月17日	刈払機安全対策講習会	24人
6月16日	植木手入れ安全講習会	16人
11月19日	初心者植木手入れ講習会	2人
11月8日	雪囲い講習会	14人
11月15～17日 11月25～26日 12月1～3日	毛筆筆耕講習会	11人

◎高齢者活躍人材確保育成事業（県連合会と共同開催）

開催日	講習内容	受講人数
8月24～27日	庭木手入れ講習会	3人

(6) 女性会員事業の推進

女性会員相互の親睦の輪を広げるため、軽スポーツ大会・健康教室・親睦会を計画しましたが、10月21日にセンター駐車場で開催された健康教室（秋冬の寄せ植え、18人参加）以外の軽スポーツ大会と親睦会については、新型コロナ感染防止のため中止としました。

(7) シルバー派遣事業の取り組み

昨今の地域社会の多様なニーズに応じていくために、「請負事業」で対応できない就業については、山形県シルバー人材センター連合会と連携しながら「シルバー派遣事業」で取り組みました。

今年度は、学童保育補助やこども園送迎運転など人手不足となっている事業所等への派遣を行いました。

(8) 中期基本計画の策定

現在の第4次中期基本計画が令和3年度で終了することから、今後5年間の当センターが目指すべき第5次中期基本計画（令和4～8年度）を策定しました。

(9) 組織体制の充実・強化

「自主・自立、共働・共助」という基本理念のもと、理事会をはじめとする各組織が、活力あるセンター運営に努めました。「理事会」「専門委員会」「事務局」のキャリアアップのため研修会については、新型コロナ感染防止のため中止となりました。

(10) 創立30周年記念事業

当センターは、令和3年度に創立30周年を迎えることができました。これを記念し、「記念式典」については新型コロナ感染防止のため出席者を限定し「記念表彰」のみの内容で、1月12日、当センター研修室で開催しました。また、広報委員会は“創立30周年記念特集号”「広報シルバー河北」を編集し、2月15日に全戸配布を行いました。